

ヘブル人への手紙10章11-25節 新しい契約のもとで迎える新しい年

おはようございます。今日は、新年に向けてお話しします。新年を迎えるこの時期に、私たちは一年を振り返り、自分自身やその行いを思い返したりします。新しい年に向けて目標ややることのリストを作るかもしれません。「もっと運動する」、「新しいことを学ぶ」、「毎日聖書を読む」といった目標を立てるかもしれません。これらの目標を達成できたら、とても気分がいいと思います。数日であきらめてしまったら、がっかりするかもしれません。自身を振り返り、成長しようとするのは悪いことではありません。ただ、そうすることで、自分がキリストにあって何者であるかを忘れ、自分の行動や実績ばかり意識してしまう危険性もあります。今日は、新年を迎える心を神様に願い、ヘブル人への手紙10章を見ていきます。神様がご自身の民と結ばれた新しい契約、そしてその契約が私たちをへりくだらせ、励ましてくださることを、一緒に確認していきましょう。そのうえで、主の民に対する3つの具体的な指示を見ていきます。それは、私たちが、新年そしてその先まで、覚え、応答していくべき内容です。

新約聖書のヘブル人への手紙は、キリストがこの世に来られたあとに、ユダヤ人クリスチャンに向けて書かれました。誰が書いたかについてははっきりとはわかりませんが、神の靈感によって書かれたことを私たちは知っています。この書簡には、キリストが旧約聖書の律法を成就させ、いけにえ、祭司職、神殿が不要となったことが書かれています。ヘブル人への手紙10章11-14節を見ていきましょう。¹¹ さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても、それらは決して罪を除き去ることができませんが、¹² キリストは、罪のために一つのいけにえを献げた後、永遠に神の右の座に着き、¹³ あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます。¹⁴ なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたからです。

キリストが地上に来られ罪人のために命を献げるまで、神はイスラエルの民に罪の贖いとしていけにえを献げるよう命じていました。これらのささげ物は、当時のイスラエルの民にははっきりとわからないことでしたが、世の罪のための究極かつ完全な犠牲となるキリストを指し示すものでした。動物のいけにえを献げることで、イスラエルの民は、自分たちの罪、そして贖いの必要性を認め、救いの神への信仰を示したのです。いけにえは、血の犠牲が必要であることを目に見える形で示すものでした。最終的に、神の救いをもたらすのは、動物のいけにえではなく、唯一まことの神への信仰でした。

キリストが来てからは、これらのいけにえは必要なくなりました。キリストはすでに来られ、その犠牲により、主の民の罪を永遠に取り除かれました。今、主は御座に座り、将来、全ての敵対する者たちに勝利することが約束されています。ヘブル人への手紙の著者は、私たちが2024年を迎えるにあたり、覚えておくべき重要な点を述べています：「キリストは、主に選ばれた民のための完全な犠牲である」ということです。現代の私たちは、イスラエルの民が献げていた動物のいけにえは必要ないと考え、まるで自分の行いによって、自分たちを救い、きよいものとすることができるかのように振る舞っていないでしょうか？パウロはガラテア人への手紙2章16節で次のように書いています。¹⁶ しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただイエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちがキリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによって義と認められないからです。この「義と認められる」という言葉は、正しい者として神の御前に立つことを意味します。すなわち、罪深い不義や不完全さの記録ではなく、完全な記録を神が見るとのことなのです。パウロははっきり言っています。信仰によって救われ義とされるのであって、私たちの善い行いによって救われるわけではないのです。クリスチャンの皆さん、キリストが十字架の犠牲によって救ってくださるという真理を認めるような生き方、行動、祈りをしていますか？自分の力でどうにかして自分を価値ある者にしなければならないというプレッシャーから行動していないでしょうか？新年を迎えるにあたり、イエスに信頼し、自分自身の行いや力ではなく、キリストの犠牲こそが救いをもたらす神の御前で正しい者としてくださることを心に留めていきましょう。そうすることで、自分の力と計画に自信を持って新年を迎えようとしている私たちがどうか謙虚にしてください。親、配偶者、独身者、息子・娘、学生、会社員、教会の奉仕者

として、あるいは家族で唯一のクリスチャンとして、その日を過ごすのがやっとなと感じている私たちをどうか励ましてください。

ヘブル 10 章 15 から 18 節にもこのことが書かれています。読み進めましょう。¹⁵ 聖霊もまた、私たちに証ししておられます。というのも、¹⁶ 「これらの日の後に、わたしが彼らと結ぶ契約はこうである。——主のことば—— わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いにこれを書き記す」と言った後で、¹⁷ 「わたしは、もはや彼らの罪と不法を思い起こさない」と言われるからです。¹⁸ 罪と不法が赦される場所では、もう罪のきよめのささげ物はいりません。16-17 節は、神がご自分の民に新しい契約を結ぶと約束したエレミヤ書 31 章 33-34 節を引用しています。この新しい契約の下では、神は主の民の罪を覚え、人々は赦されます。この契約は、救いのために私たちに行動を求める契約ではなく、恵みの契約です。そして神の律法が主の民の心に記されるので、私たちがそれに反発することなく、聖霊によって神に従う力が与えられます。先ほど、新年に自分を見つめ直して決意を新たにすることをしました。新年を迎えるにあたり、救いは私たちの行動でなくキリストの犠牲によると理解したうえで、三つのことをするように招かれています。聖霊を受け、律法を心に刻むクリスチャンの皆さん、御言葉にあるこれらの指示に従う決意を持って新年を迎える準備をしましょう。

19 から 22 節を読みましょう。¹⁹ こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。²⁰ イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。²¹ また私たちには、神の家を治める、この偉大な祭司がおられるのですから、²² 心に血が振りかけられて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって真心から神に近づこうではありませんか。

キリストが十字架で犠牲となるまえは、イスラエルの民は神に近づくために神殿に行きました。神殿の "至聖所" の中で、神は特別な方法でご自身を現しました。19 節の「聖所」は、この「至聖所」を指しています。神殿には、人々を代表して神に近づき、執り成すことを定められた大祭司がいました。大司祭は、罪の贖いのためにいけにえを献げ、年に一度、神の民の罪を贖うために至聖所に入ります。この至聖所はカーテン（またはヴェール）の奥にあります。マタイ 27 章 51 節では、イエスの死の瞬間についてこう書かれています。⁵¹ すると見よ、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。…

このように物理的に幕が裂けたことは、より重要な霊的意味を持ちます。主の民が、大祭司かつ年一度という制限なく、神に近づけるようになったのです。また、人間の大祭司は取って代わられています。ヘブル 4 章 14 節には、こう書かれています。¹⁴ さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な大祭司がおられるのですから、信仰の告白を堅く保とうではありませんか。

ローマ 8 章 34 節には、こう書かれています。³⁴ …死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしてくださるのです。イエスは私たちの大祭司として、人間の大祭司には決してできなかった方法で、私たちのために祈り、父なる神の御前で私たちを代表してくださいます。そしてそのことが、2024 年に御言葉に従い、全き信仰をもって真心から神に近づくことを約束する私たちに自信を与えてくださいます。聖書を読むことを日々のチェックリストの単なる項目とせず、新しい年に信仰と熱心な祈りをもって神に近づき、神を求めていきましょう。

23 節に私たちがすべきことの 2 つ目があります。²³ 約束してくださった方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し続けようではありませんか。

単純に見える聖句ですが、その背景に注意を向けましょう。ヘブル 2 章 1 節にこうあります。こういうわけで、私たちは聞いたことを、ますますしっかりと心に留め、押し流されないようにしなければなりません。ヘブル人への手紙から、この手紙が宛てられたユダヤ人たちが信仰から離れつつあることが見て取れます。ある者はキリストのメッセージと召命をしっかりと守らず、自分の行い（またはユダヤの律法に従うこと）で救われると考えていたようです。またある者は、3 章と 4 章にある通り、心をかたくなにしています。5 章 11 節では、彼らが「聞くことに対して鈍くなっている」とあります。これがこの忠告の

背景です。では、皆さんにお聞きします。皆さんの信仰は押し流されていませんか？ キリストが私たちが救い、人生を支えてくださることを強く信じていますか？ それとも、目に見えるもの、例えば、仕事、お金、美德とされるもの、礼儀作法、成功、成績、あるいは教会での役割などに信を置いていませんか？ 一部のヘブル人のように耳を鈍くするのではなく、キリストの救いの力と犠牲によってのみ得られる希望に平安を見出していきましょう。この希望は、将来の不確実性を示すものではなく、確実に生きた希望であり、それにより私たちはためらいなく神と神の約束を信頼することができます。私たちの生活、人生の使命、子育て、仕事、友情、救いなどについて、いかなる「バックアップ・プラン」も必要ありません。必要なのはキリストのみです。2024年を迎えるにあたり、神は真実であることを覚え、聖霊の力によって、希望と信仰を強く保っていきましょう。

24-25節にある、私たちがすべきことの3つ目は教会に向けて書かれています。²⁴ また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。²⁵ ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いきましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

私たちは信者として、愛と善行を促し、刺激し合うことが求められています。しかし、それはどうすればできるのでしょうか？ 日曜の礼拝で、また毎週の祈禱会のような他の機会などでも、自分たちの集まりをやめないことです。顔を合わせなかったら、どうやってお互いを促し、励まし合うことができるでしょうか？

ヘブル人への手紙の著者は、この点に特別な注意を払っています。初代教会では、集まることを怠ることを習慣としていた人々がいたのです。では YIBC で、私たちは集まることを大切にしているのでしょうか？ 大晦日にここに集まっている皆さんにお話ししているので、おそらく皆さんは日曜礼拝出席にかなり忠実なのだと思います。しかし、皆さんの他の信徒や教会との交わりは日曜礼拝に限られたものでしょうか？ 日曜学校のクラスに参加しているのでしょうか？ あるいは、平日の聖書研究会や祈禱会などに参加しているのでしょうか？ これらの場合は、礼拝に出席するだけでは得られない交わり、励まし励まされる機会を与えてくれます。

また、日曜の朝、私たちが集まっているとき、他の信徒を励ますことを習慣にしているのでしょうか？ 他の人たちを、愛をもってかき立てる方法を見つけようとしているのでしょうか？ ここにいる人たちを愛し、励まし、その結果、彼らが神に栄光を帰す行動をしたり、福音を広めたりするよう、刺激し、促しているのでしょうか？ それとも自分のためにここに来ているのでしょうか？ または義務感がそうさせているのでしょうか？ 教会に行くという行為さえも、その日または一週間を清らかな気持ちにさせてくれる良い行いとして扱っていないのでしょうか？ 奉仕の責任さえも、集う大切な理由から目をそらす「良いこと」になりかねません。YIBC の教会員の皆さん、私たちの集まりはあなただけのものでなく、お互いのためのものであることを忘れないでください。これが、今日、最後のポイントです。2024年が、私たちが共に集い、心から愛し合い、励まし合い、教会員全員の善い行いを促す年となることを願います。

最後にもう一度、私たちがすべきことを皆さんに強調したいと思います。全き信仰をもって真心から神に近づきましょう。神は真実なかたであることを覚え、希望を強く保ちましょう。そして、互いに励まし合い、愛し合いながら集うことを大切にしましょう。

今日ここにいらして、神の民の一員、つまりクリスチャンでない方がいらっしゃるかもしれません。この章には、神の契約を知りながら、それを軽んじる人々への警告が続いています。31節に、こう書かれています。³¹ 生ける神の手の中に陥ることは恐ろしいことです。この説教の初めに見たように、神は、大祭司であるイエスを通して、神に近づく道を開いてくださいました。もしまだ神に立ち返っていないなら、罪を悔い改め、イエスを主として従うことを誓い、神に立ち返ること促したいと思います。このことについてもっとお話ししたいと思います。礼拝後に私かベン牧師、ヒロ牧師、執事の誰かにお声かけください。ぜひお話ししましょう。

一緒に祈りましょう。

Hebrews 10:11-25 – A New Year under the New Covenant

Good morning! Today as we gather, we look ahead to a New Year. This is a time when we're often challenged to examine ourselves and our performance over the past year. We may make a list of resolutions, goals, or habits to which we intend to commit ourselves. These might range from "exercising more" to "learning a new skill" or even "reading the Bible daily." If we do well at meeting these goals, we might feel very good about ourselves and our performance. Others of us may stop after a mere few days and grow discouraged by our failure. While the act of examining ourselves and committing to grow year after year is not a bad one, it *can* lead us to a mindset of doing and performing instead of remembering who we are in Christ. Today, as we ask God to prepare our hearts for a New Year, we'll look at the book of Hebrews chapter 10. Together, we'll remember the new covenant God has with His people and how it should both humble and encourage us. Finally, we'll see three specific directions to God's people that I believe God is calling us to remember and commit to in the upcoming year and beyond.

This New Testament book of Hebrews was written to a community of Jewish Christians after Christ's time on earth as a man. While its human author is not entirely clear to us, we know the book to be part of the inspired Word of God. This book shows how Christ has fulfilled the Old Testament law, making the sacrifices, priesthood, and temple of the Old Testament no longer necessary. Let's turn to the text and read Hebrews 10:11-14. **11 And every priest stands daily at his service, offering repeatedly the same sacrifices, which can never take away sins. 12 But when Christ had offered for all time a single sacrifice for sins, he sat down at the right hand of God, 13 waiting from that time until his enemies should be made a footstool for his feet. 14 For by a single offering he has perfected for all time those who are being sanctified.**

Before Christ came to earth to die for sinners, God had called His people Israel to make sacrifices as an atonement for sin, which are the sacrifices in verse 11. Although the Israelites did not fully understand at the time, these sacrifices pointed ahead to Christ who would become the ultimate and perfect sacrifice for the sin of the world. By offering animal sacrifices, the Israelites would acknowledge their sin and need for redemption while showing their faith in God to save them. The sacrifices were a visible reminder that a blood sacrifice was needed to atone for sin. Ultimately, it was not the animal sacrifices that saved God's people, but their faith in the One true God.

After Christ came, these sacrifices were unnecessary. Christ had already come! His sacrifice took away sin for His people for all time; now He sits on His throne, and the future victory over all those who oppose Him is assured. The author of Hebrews makes an important point for us to remember as we enter 2024: **Christ is the One perfect sacrifice for His chosen people.** While today we may not be thinking that we need to offer animal sacrifices in the same way the Israelites did, we do often act as if it's our works that save and sanctify us, don't we? Paul writes to the Galatians in Galatians 2:16 **Yet we know that a person is not justified by works of the law but through faith in Jesus Christ, so we also have believed in Christ Jesus, in order to be justified by faith in Christ and not by works of the law, because by works of the law no one will be justified.** This word "justified" means being brought into a right standing before God; when we are justified, it means God sees a perfect record rather than a record of sinful wrongdoings and imperfections. Here Paul

makes it clear—we are saved and justified by faith in Christ, not by the good things we try to do. Christians, do you live, act, and *pray* in such a way that acknowledges the truth that Christ saves you through His sacrifices on the cross? Or do you act out of pressure to keep *doing* and *performing* to somehow make yourself worthy in your own power? As we enter the New Year, I encourage you to trust in Jesus and remember that Christ's sacrifice, not Your own works and power, is the source of your salvation and right standing before God. May that humble you if you are entering the year feeling confident in your own power and plan, and may it encourage you if you feel you're barely able to go on another day as a parent, as a spouse, as a single, as a son or daughter, as a student, as an office worker, as a ministry worker, or as the only Christian in your family.

We continue to see this in Hebrews 10:15-18; let's continue reading. **And the Holy Spirit also bears witness to us; for after saying, 16 "This is the covenant that I will make with them after those days, declares the Lord: I will put my laws on their hearts, and write them on their minds," then he adds, "I will remember their sins and their lawless deeds no more." 18 Where there is forgiveness of these, there is no longer any offering for sin.** Verses 16 and 17 quote Jeremiah 31:33-34 in which God promises to His people that He will make a new covenant. And under this new covenant, God will not remember the sins of His people—they have been forgiven. This covenant is not a covenant requiring works from us to earn our salvation, but of *grace*. And God's law is written on the hearts of His people in a way that we are not repulsed by it, but we are empowered by the Holy Spirit to follow Him.

Earlier, I mentioned that New Year's tends to be a time of self-examination and commitment. While I hope you enter this New Year understanding that it's Christ's sacrifice that saves You, not your own actions, there *are* three charges to God's people that follow in the passage. For Christians here today who have the Holy Spirit and have God's law written in their hearts and minds, I would urge you to start the new year with a commitment to obeying these directions in God's word.

Let's continue reading in verses 19-22. **Therefore, brothers, since we have confidence to enter the holy places by the blood of Jesus, 20 by the new and living way that he opened for us through the curtain, that is, through his flesh, 21 and since we have a great priest over the house of God, 22 let us draw near with a true heart in full assurance of faith, with our hearts sprinkled clean from an evil conscience and our bodies washed with pure water.**

Before Christ's sacrifice on the cross, the Israelites would go to the temple to draw near to God. God chose to manifest himself in a special way inside the "Holy of Holies" in the temple, which is what this reference to the "holy places" refers to in verse 19. In the temple was a High Priest who was a man set apart to approach and intercede to God on behalf of the people. He would make sacrifices to atone for their sins, and entered the Holy of Holies once a year to make atonement for the sin of God's people. This Holy of Holies was behind a curtain, sometimes called a veil in Scripture. Matthew 27:51 says about the moment of Jesus' death, **...behold, the curtain of the temple was torn in two, from top to bottom. ...**

This actual physical ripping of the curtain was symbolic of an even greater spiritual meaning: the people of God have access to Him, not just a high priest once a year. Furthermore, the human High Priest has been replaced. Hebrews 4:14 shows this clearly

when it says, [Since then we have a great high priest who has passed through the heavens, Jesus, the Son of God, let us hold fast our confession.](#)

Romans 8:34 says, ... [Christ Jesus is the one who died—more than that, who was raised—who is at the right hand of God, who indeed is interceding for us. Jesus, as our Great High Priest, is praying for us and representing us before God the Father in a way that the human high priests never could.](#) And let that give us confidence as we obey God's word in 2024 and commit to **draw near to God in assurance of our faith**. More than making Bible reading just another item on a daily checklist, will you commit to drawing near to God, to seeking Him this next year in faith and fervent prayer?

There's another charge to the believer in verse 23: **Let us hold fast the confession of our hope without wavering, for he who promised is faithful.**

This verse seems simple enough on its face, but let's not ignore the context behind it. Hebrews 2:1 says [Therefore we must pay much closer attention to what we have heard, lest we drift away from it.](#) Throughout the book of Hebrews, we see signs that the Jewish recipients were drifting in their faith. It seems that some weren't completely holding to the message and calling of Christ, thinking their works (or following the Jewish law) would save them. Some had hardened hearts if you look at chapters 3 and 4. Chapter 5 verse 11 calls them "[dull of hearing](#)". That's the context of this exhortation. So let me ask you, are you drifting in your faith? Do you hold fast to Christ to save you and to sustain you in this life, or do you trust what you can see: your career, your money, your perceived virtue, your politeness and propriety, your success, your grades, or your position in ministry? Don't become dull of hearing like some of the Hebrews, but be assured of the saving power of Christ and the hope that only can come because of His sacrifice. This isn't a hope that implies uncertainty in our future, but a guaranteed and living hope that allows us to trust God and His promises without hesitancy. We don't need a "backup plan" of any type for our welfare, our life's mission, our parenting, our career, our friendships, or our salvation; we *only* need Christ. As we enter 2024, **remember that God is faithful**, and through the power of His Holy Spirit, **let us remain steadfast in our hope and faith.**

Verses 24-25 give us the third and final direction to the church in this passage: **24 And let us consider how to stir up one another to love and good works, 25 not neglecting to meet together, as is the habit of some, but encouraging one another, and all the more as you see the Day drawing near.**

We're called as believers to stir up or stimulate each other to love and do good works. But how can we do that? By not neglecting to meet together, primarily during our corporate worship service on Sunday mornings, but also through other opportunities like our weekly prayer meeting. How can we stir each other up; how can we *encourage* one another if we don't even see each other?

The author of Hebrews gives this point a little extra attention. There *were* people who made it a habit in the early church of neglecting to meet together. YIBC, do we make it a priority to gather together? I'm talking to a group that's gathered on New Year's Eve Day, so I assume I'm probably talking to a group that's fairly faithful in Sunday morning worship attendance. But is your fellowship with other believers and the church limited to a Sunday morning worship? Are you part of a Sunday school class? Or do you gather during the

week with a Bible study, or for our prayer meetings? These opportunities give us ways to fellowship, encourage, and be encouraged that attendance at the worship service does not offer alone.

And let me ask you this: when we *are* gathered on Sunday morning, do you make it a habit to encourage other believers? Are you finding ways to stir others up in love? Are you so loving and encouraging others here that you are provoking or triggering them to perform good works that glorify God and further the spread of the gospel? Or are you here for yourself? Or out of obligation, treating even the act of churchgoing as a good work that makes you feel purer for the day or week? Even ministry responsibilities can be “good things” that distract us from an important reason for gathering. Members of YIBC, remember that our gatherings are not just about you, but about each other. This brings us to our final point today: may 2024 be a year that we **meet together and truly love and encourage each other, inciting good works** from all of our members.

So as we close today, believers, let me again exhort you. Draw near to God with full assurance of faith. Remember God’s faithfulness as you remain steadfast in your hope. And remember to gather together, encouraging and loving one another.

If you’re here today and are not part of God’s people—you’re not a Christian, this chapter continues with warnings to those who know of God’s covenant, but treat it with disregard. Verse 31 says, [It is a fearful thing to fall into the hands of the living God](#). As we saw early in the message, God has made a way through Jesus, His Great High Priest, to draw near to Him. And if you haven’t yet, I encourage you to turn to Him in full repentance of sin and commitment to following Jesus as Lord. If you want to talk more about what that means, please find me, or Pastor Ben, Pastor Hiro, or any of the deacons after the service; we would love to talk to you.

Let’s pray together.